

12月
定例会
11/30～12/18

ふるさと納税の記念品がさらに充実

上谷総合公園サッカー場へ新たに夜間照明設置

審議議案



12月定例会は、11月30日から12月18日までの19日間の会期で開かれ、市長から提出された「平成27年度鴻巣市一般会計補正予算（第4号）」、「鴻巣市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例」など17件の議案について慎重審議し、すべての議案を同意及び原案のとおり可決しました。
また、議員提出議案1件を上程の上、可決し、請願1件は、不採択となりました。

問 条例の一部改正

上谷総合公園サッカー場の夜間照明の設置

上谷総合公園サッカー場へ新たに夜間照明を設置することに伴い、利用料金を設定することのだが、算定根拠は。

答 利用料金については、消費電力や近隣施設とのバランス、利用率等を勘案し設定しています。上谷総合公園のサッカー場は、LED照明にすることで、消費電力は抑えられ、他の施設より利用料金を低く設定しています。



これから照明が付く上谷総合公園サッカー場

条例の一部改正

税の換価の猶予が納税者の申請により可能に

今回の改正では、納税者の申請に基づいて納めやすくする規定にしたとのことだが、どのような内容か。

問 今後差し押さえの対象となりうる財産の換価処分（公売）についての判断を、今までは職権により決めていたものに、納税者が事業継続困難など特別の事由があり、徴収金の納付について誠実な意思を有するとき、換価の猶予を納税者からの申請による仕組みが新たにできたものです。

補正予算 財政調整基金繰入金

問 財政調整基金1億2千万円の繰入後の基金残高は。また、財政調整基金と減債基金についてどのように考えているのか。

答 今回の補正予算で歳入不足を補うために財政調整基金を1億2千万円の繰入、その後の基金残高は、約26億5千万円になります。財政調整基金は、市の予算編成をする中で財源の不均衡を調整するための重要な基金で、一般的な目安として標準財政規模の5%から10%程度といわれています。減債基金は、地方債の返済のための基金で今後公債費が伸びることに對しての財源としての基金であり、平成27年度末で約12億円の残高を見込んでいます。

補正予算 ふるさと納税促進事業

問 ふるさと納税の寄附額は。この

事業の今後の方向性は。

答 11月15日現在、ふるさと納税は545件、寄附額704万5000円です。ふるさと納税が増えた要因は、このとり伝説米だけだった記念品が、今年は梨・柿・川幅グルメセット・花き・ひな人形・このすゝめ大会のペアチケットなどを追加するとともに、6月にクレジットカードが考えられます。今後も創意工夫により記念品を増やし、来年も、このふるさと納税を増やしていきたいと考えています。

補正予算 訪問介護・看護の一体的サービスの開設準備

問 事業内容は。

答 地域密着型サービスである、定期巡回随時対応型訪問介護看護事業の開設準備経費に対して補助するものです。サービス内容は、利用者が可能な限り、自宅で自立した日常生活を送ることができるサービスの提供を目的としたものです。そのために、定期的な巡回・随時通報などの対応、365日24時間、必要なサービスが必要なタイミングで柔軟に提供するもので、訪問介護と訪問看護を一体的に提供できるサービスです。

病児保育事業費補助金

補正予算

病児保育室の利用状況と課題は。

問 事業開始初年度である平成26年度の延べ利用人数は、258人、平成27年度が10月までで110人です。実施できる施設は病院等であり、看護師・保育士が配置されていることが必要です。現在、ヘリオス会病院一施設のみに委託していますが、地理的条件もあることから利用しにくい方もいます。また、定員は4名ですが、病気によっては同じ部屋では預けられない場合などもあり、利用者は、当初の見込みより少ない状況です。

問 今後、アピール不足も感じていますが、周知方法などにも工夫をして取り組めます。

○病児・病後児保育

保護者の就労等のため、集団での保育が困難な病気にかかっている児童や病気の回復期にある児童を、適切な処遇のできる施設で一時的に預かる事業です。保育所・幼稚園・小学校などに通っている児童が対象です。

生活保護費負担金

補正予算

生活保護世帯の推移と内訳は。

答 平成18年度が386世帯、平成27年10月現在では571世帯、10年間

で約1.48倍増加しています。世帯の内訳は一部重複も含め、高齢者世帯47.1%、傷病者世帯33.6%、障がい者世帯17.3%、失業などによるその他世帯13.7%、母子世帯4.9%です。

鴻巣市の水道事業は

補正予算

最近の水道水の塩素濃度は。

答 水道水の塩素添加については、以前は人の手が関わるが多かったのですが、現在はほとんどの部分が自動化されています。水質の自動監視装置や、浄水場では常時塩素濃度を監視しており、添加量も調整して、一定の塩素濃度で浄水場から配水するようになっていきます。従いまして塩素濃度については、以前と比べると安定しています。

市営住宅施設維持管理事業

補正予算

問 市営住宅の施設維持管理事業の修繕料の内容は。

答 市営住宅の維持管理として、600万円の修繕料になります。登録団地の給水ポンプ2基の加圧給水ユニットの交換修繕、また、松原団地の非常用ハッチの老朽化による修繕などがあります。この予算では、

建物全体に係る修繕も行いますが、新規入居者を受け入れるためのリフォームや比較的金額が小さな室内修繕も実施します。

吹上荒川総合運動公園の公園整備工事は

補正予算

公園整備工事の内容は。

答 平成27年台風18号により、吹上荒川総合運動公園内のソフトボール場、サッカー場等が水没したため、土砂の撤去を行いました。グラウンドに、約2cmの汚泥のような土砂が堆積したため、それを寄せながらならし土砂搬出を行いました。また、多目的グラウンドでは、素掘りの水路も大分埋まったため、水路復旧の土砂搬出を行いました。

鴻巣御殿のジオラマ製作

補正予算

問 ジオラマ（模型）を作るとのことだが、鴻巣市の歴史の中で徳川家康が鷹狩りするとき利用された御殿があったことの意義はどうとらえているか。

答 文禄年間、家康が鴻巣地内に鷹狩りのため御殿を建設し、その後1千600年頃、北本から鴻巣に宿場が移ったことを考えると、鴻巣市の

ルーツ、市の発展の歴史をたどる上で大変重要なものと認識しています。

農地活用促進事業

補正予算

問 農地活用促進事業は、農地を集積していくものであるが、どこかの場所を耕作しているのか。また農地集積の受け手はどこか。

答 農地は、川里地域の境・屈巢・広田・上会下・関新田・北根地区にまたがっている田んぼで、作付は水稲になります。受け手は久喜市内、旧菖蒲町にある農業生産法人です。

人形町のひなの里指定管理者の指定

その他

問 鴻巣市産業観光館「ひなの里」について、次期指定管理者として、平成28年4月1日から5年間、一般財団法人鴻巣市観光協会に引き続き管理を行わせるものだが、公募がない理由は。

答 地方自治法では公募、非公募等の定めがなく、また平成24年11月1日に設立した鴻巣市観光協会は、市の観光を担う社会的責任のある団体として活動しており、今回は限定公募としたものです。